



At the heart of the image

第167回
TopEye
賞

「これからも」桑田有理 (熊本県・八代白百合学園高等学校3年)



ガンバレ写真部!
山口県立下松高等学校
アート×体育系の
チャレンジパワー!!

視想講座 VOL.266
リアルな経験がたくさんをくれる
山形 豪



めざせ傑作!! わくわくデジタル写真ゼミ 第2回
露出補正が表現の鍵だ!!

情報ひろば
FRIEND'S EYE

PhotoPhoto OB/OG訪問
埼玉県立新座総合技術高等学校OG 田代つかささん
「撮る側」と「観る人」の関係性を楽しんでいます!

Nikon News

もうすぐ
締切!

第61回ニッコールフォトコンテスト
第4部「U-31」

Nikon College
ニコンカレッジ

Photo Photo SALON 2013年度 vol.1 167th



審査員 大西みつぐ
1982年東京・深川生まれ。「遠い夏」で第18回木村伊兵衛写真賞受賞。ニッコールクラブ顧問、日本写真家協会会員、東京総合写真専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。

被写体に向き合い、自分なりの感動を表現しよう／大西みつぐ

すごいことです！今回は過去最多の応募点数1900点となりました。常連強豪校は新年度にも関わらず、大量に作品を投入してきました。その質の高さは目を見張るものがあり、完成度もかなりあります。しかし、今回から新たに参入してきた学校からは、実に初々しい作品が寄せられ、写真を撮る喜びが素朴にあふれています。審査の観点は、それぞれが目の前のものに（風景や人でもいいのですが）、しっかり向き合っているかどうか。さらには自分なりの感動や発見が写真に表れているかどうかというところです。入賞作品と「もう一息」の作品群にはそれらが混在していると思います。決して手慣れた絵作りのうまさだけで入賞できると考えないでください。初心者のみなさん、新入生のみなさんにも十分に入賞のチャンスがあるのだということです。しかし素直に撮るのはよいものの、ピントは本当にそこに合わせたかったのか、手ぶれはないか、露出は合っているかという基本をしっかり確認することは大事です。表現と技術は常に「上皿天秤」のようにバランスされていなければならないのです。

入賞作品はニコイメージングのサイトに掲載！チェックしてみよう！

<http://www.nikon-image.com/activity/topeye/>

最新の応募紙もダウンロードできるよ！

TopEye賞

表紙に大きく載ってるよ!!



「これからも」桑田 有理

熊本県・八代百合学園高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-135mm
●Aオート (f/5.6, 6.3, 6.3) ●ISO100, 1600, 1600

写真は時間に深く関わる表現です。もちろん「今」をとらえることしかできないのですが、これまで経てきた時間が、いや「歴史」がイメージとしてそこに色濃く表れている場合があります。作者は最初の写真で思い切って深く刻まれた皺を克明に描き、そして「フォトフレーム」を真ん中にはさみ、3枚目にご夫妻の仲睦まじい様子をとりえるという流れの中で、自然に時間軸を伝えようとしています。写真はビジュアルコミュニケーションとしての役割を果たしていることがよくわかります。同時にタイトルに込められた思いは普遍的なメッセージでもあります。「内容のある写真」とよくいいますが、小難しい物語ではなく、私たちの素朴な思いが誇張もなく丁寧にしっかり描かれているということなのでしょう。

入選

「恋する足」山下 湧平

大阪府立成城高等学校2年
●D3100 ●AF-S DX18-55mm
●S オート (1/5 秒, 0.3 秒, 1/5 秒)
●ISO100, 1600, 100

作者はさまざまな場所でずっとこのテーマを座り込んで撮られているようです。写真には時間の流れが空間を通して立ち表れてきたりしますが、ここでは直接的な「ブレ」がわずかな時間の流れを忠実に表現しています。そしてそれには偶然性が重なってきます。そのあたりが面白くて続いているのでしょうか。こうした実験精神はなかなかいいと思います。しかしそろそろ、ここから新たな表現に挑戦すべきです。多重露光によるポートレートや都市風景で注目されている北野謙さんの写真などを参考にしてください。



「森林力」清野 飛遊

静岡県立下田高等学校3年
●デジタル一眼カメラ ●14-140mm
●M (1/80 秒・f/5.6) ●ISO200

「視点」という問題はみなさんの頭を悩ませているかもしれませんが、この写真は2つのそれが生き生きと働いています。まず「カメラアングル」という意味から。ローアングルからの視点は背景の竹などの樹木が空に向かうように力強い躍動感を表現しています。逆光のせいでゴーストが入ったのも太陽の眩しさを感じさせます。そして、この男性は作者のお父さんです。息子が見た父の逞しさという「視点」もあります。単に物理的な視点だけでなく、私たちのものの見方が強く影響するのが「写真」なのかもしれません。



準TopEye賞

「ピクニック」北園 慎

鹿児島県・ラ・サール高等学校2年
●デジタル一眼カメラ ●3.2mm
●Aオート (f/5.6) ●ISO3200

なんとも素敵なタイトルがつけられています。真夜中の散歩は危険ですから控えるべきですが、まだ集合住宅にも灯りが見えますので夜更けではないのでしょう。当然犬の散歩をさせる人々などもすれ違ったりしますが、こんなところでわざわざ写真を撮る人もいません。そこに写った人が作者なのか、あるいは友人や家族なのか一切説明されていないのが面白いのです。しかし、多分、このナトリウム光や背景や夜空がとても美しく思ったはず。人工光が織りなす風景に囲まれたピクニックこそが21世紀の未来とも言いかけたげです。



第167回 TopEye賞受賞

桑田 有理さん
受賞のコトバをどうぞ!!

TopEye賞受賞の一報を聞き、「まさか私が…」という驚きと、喜びで胸一杯になりました。今回の撮影では、50年以上も連れ添っている祖父母の仲の良さ、温かな雰囲気、自然な表情を写真に表すことを目標にしましたが、受賞することができたのは、家族の協力や他の部員からの激励、顧問の先生の熱心な指導のおかげだと思います。これからも感謝の気持ちを忘れず、高校生活最後の部活動に力を入れていきたいです。この度は本当にありがとうございました。



「Splash!」加藤 ちなつ

愛知県立津島東高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●M (1/4000 秒・f/5.6) ●ISO200

場所はプールなどでしょうか。勢よく水を背中にかけた瞬間の写真。それも高速シャッターで写っています。たったこれだけの設定ではありますが、まさにみずみずしい写真です。これだけの水が弾けるほどの強靭な？背中の持ち主であるのかはともかく、清々しい男らしさというのを感じてしまいます。そう思っただけだと彼がギリシャ彫刻のようにも思えてきます。空を背景にしたという単純な構成がここでは生き生きと働いたようです。女性の作者らしい思い切りのよさがよく感じられます。

<p>TopEye賞</p> <p>ニコンデジタル一眼レフカメラ D3200レンズキット</p> <p>賞状 受賞者に</p> 	<p>準-TopEye賞</p> <p>ニコンデジタルコンパクトカメラ</p> <p>賞状</p> 
<p>Bottom賞</p> <p>エプソンプリンター EP-805A (またはAW, AR)</p> <p>入賞作品のうち1点の作者所属の写真館へ贈呈</p> <p>※黒・白・赤のいずれか1台となります。カラーはお選びいただけません。 ※後日、プリンターのご使用につきましてアンケートにご協力いただく場合がございます。</p> 	<p>入選</p> <p>ニコンオリジナルカメラバッグ、賞状</p>
	<p>佳作</p> <p>ニコンオリジナルポーチ、賞状</p>

毎回応募で 狙え! 年度賞

6-9月号 10-11月号 12-1月号 2-3月号

毎回の「入賞ポイント」を学校単位で合計して選出!

TopEye賞.....100ポイント	最優秀賞 合計ポイント1位の学校
準TopEye賞.....70ポイント	優秀賞 合計ポイント2位の学校
入選.....50ポイント	敢闘賞 合計ポイント3位の学校
佳作.....30ポイント	
もうヒトイキDE入賞...10ポイント	
賞状校ポイント.....20ポイント	

受賞ポイント

受賞校に ニコンデジタルカメラ、エプソンプリンター、賞状、箱をプレゼント!

大舞台も待っている! 毎回のTopEye賞作品は次年度の「ニコールフォトコンテストU-31 (Under31) 部門」にノミネート! キミの作品が、さらに大きく羽ばたくチャンスだ!

佳作



エプソン賞

「似てます?似てます!」

武田 大地

宮城県立柴田農林高等学校1年

●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm

●Sオート(1/400秒・1/13秒) ●ISO100(2点とも)


「によき!!」

植村 南

東京都立世田谷総合高等学校2年

●D3100 ●AF-S DX18-55mm ●Pオート ●ISO800

亀の緩やかな動きに心が癒されたのか、とても可愛らしく撮られています。あらためて亀の鼻の穴や顔の様子はこんなだったのかと思わせます。マクロレンズでの撮影ではないのですが、適度な周辺のボケに助けられて浮遊感も出ました。そしてこれも偶然なのか、水の色が淡くきれいです。水族館のような水槽で撮ったのかもしれませんが、いい条件に助けられるというのは写真撮影の大事な要素のひとつなのです。



目玉焼きをつくったのはお母さんでしょうか。それをしみじみ見た作者があらためてセルポートレイトを撮った。なんとソックリなのか。うれし恥ずかし、戸惑いの青春。そこにあふれる日常の物語がとても生き生きとしています。組写真としては単純すぎるほどの2枚ですが、作者の個性ばかりでなく、家族の愛情がたっぷりここから感じられます。朴訥とも思えるそれぞれの写真は、まるで証拠写真のように作が感じられない分、とても新鮮です。

「ばあちゃん」


長内 嘉哉

埼玉県立芸術総合高等学校2年

●デジタルコンパクトカメラ

●Pオート ●ISO872

ばあちゃんの笑顔は、早咲きの梅があるからだけではなく、孫である作者が帰ってきてカメラを向けてくれたことにあるからだと思います。梅の木の成長とお孫さんの成長は我が家の宝だと自慢しそうな口元。至近距離で撮った笑顔は、選者の母親にも似たイメージがありなんだか泣けてきます。私たちはこういう笑顔に育まれてきたのです。顔も紅梅色に染まったお元気なおばあちゃんのご健康とご長寿を祈らずにはいられません。



「輝く道を」

児玉 佑奈

福井県立丹生高等学校3年

●1 J1 ●1 10-30mm ●Pオート ●ISO100

登校途中で写した一枚。振り返った坂道は朝の光でキラキラと輝いてきれいだったのでしょう。同じように学校に急ぐ生徒もいて、いまも歩いてきた自分をそこで見ているようです。そして背景にはあなたやわたしのいる町並みが静かに軒を連ねている。単純な事実、いつもの風景。しかしそれはかけがえのないもの。きっとこの入賞写真を作者が10年後に見た時。そこには画面に入りきれない「記憶」があるでしょう。



「いらっしゃい」

坂口 真衣

福岡県・西南学院高等学校3年

●デジタル一眼レフカメラ

●18-55mm ●Aオート (f/5)

●ISO800

奥からフーツと出てきたかのような雑貨店の主。ジャンパーの3本のストライプがなかなか効いています。お客さんではないのは承知ですが、こちらに微妙な笑顔をおくってくれています。人柄がにじみ出ているようです。入り口がこのぐらゐ雑多な商品ですから、さぞかし店の中は賑やかでしょう。挨拶程度で十分ですから、このようにカメラで町や村の人々と直接的なコミュニケーションを図るというのは大事なみなさんの役目かと思えます。




もうヒトイキ DE 入賞コーナー

アドバイス

「にあう?」中村月穂

香川県立坂出商業高等学校2年

かぶり物と決め顔がとてもユーモラスでよいのですが、ちょっと赤色が強すぎると思いますが、というよりもザラザラ感が出ています。撮影時の画面設定などをチェックしてみましょう。画面サイズ、色合い、感度などどこかに原因がきっとあるはずですよ。


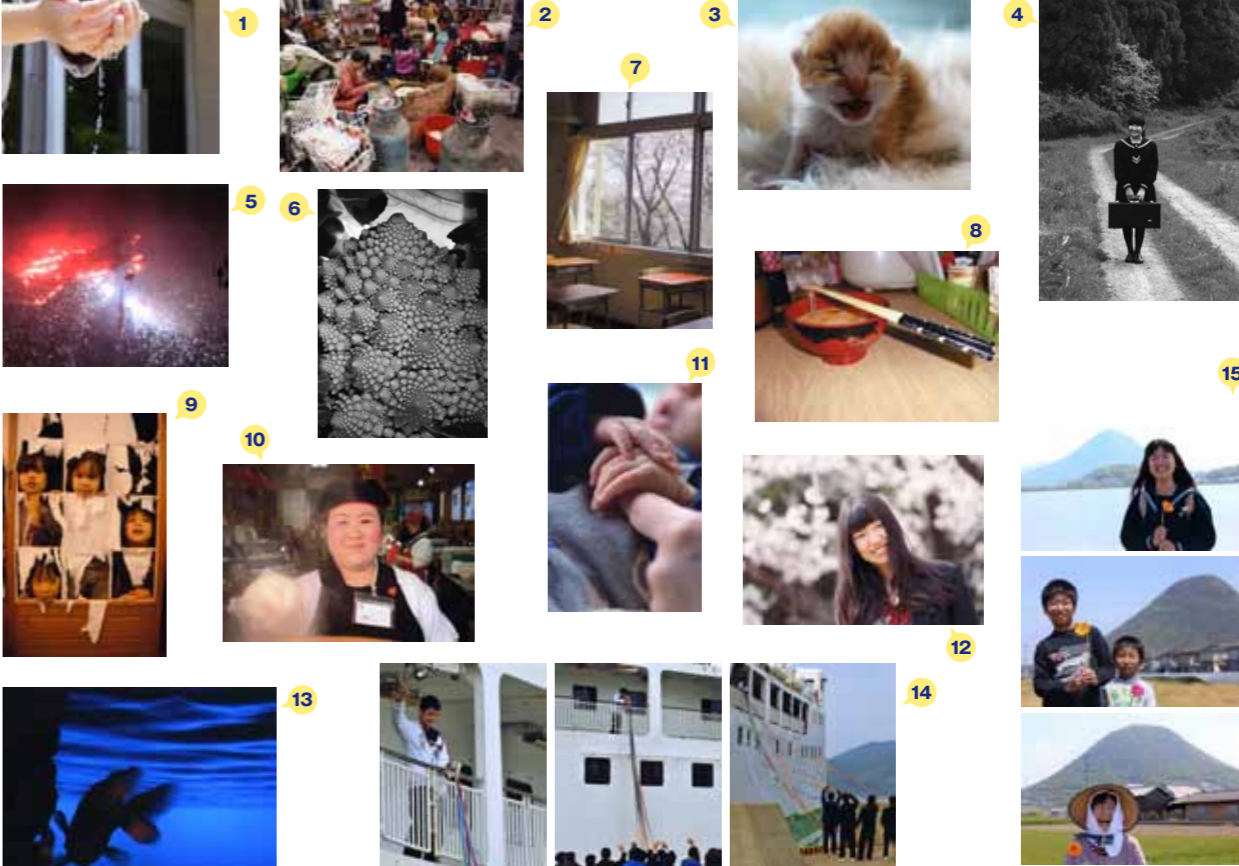


なかなか造形的なセンスがあります。タイトルにしてもシュールリアリズムやモダニズムの時代を連想させます。自宅でも苦心してライティングしたものと思われれます。そのせいか、背の高いグラスなど画面に入りきれていないのです。それが力強さを感じさせるもの、やはり切り詰め過ぎです。ぜひ再度挑戦を!

アドバイス

●「真夜中の祝宴」福島かれん

静岡県立伊東高等学校2年

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 「こぼれおちる雫」 野口 萌 京都府立西舞鶴高等学校1年 | 9 「障子の中から、こんにちは。」 平良 結 沖縄県立浦添工業高等学校3年 |
| 2 「田舎の屋台」 北條 恭兵 大阪府・清風高等学校1年 | 10 「ホッカホッカ肉まん」 宮武由佳 富山県立富山東高等学校3年 |
| 3 「うぶ声」 肥後 桃代 広島県立広島井口高等学校1年 | 11 「母の暖かさ」 池上大樹 新潟県・中越高等学校2年 |
| 4 「おはようございます」 盛高 真子 熊本県・八代白百合学園高等学校1年 | 12 「満開」 伊藤志保 千葉県立四街道高等学校3年 |
| 5 「燃えたベガス」 木下 佳歩 長野県・飯田女子高等学校2年 | 13 「水層の魚」 秋山五朗 大阪府立立城高等学校1年 |
| 6 「未来建築」 森 泉 東京都立小石川中等教育学校 中等6年 | 14 「別れの時」 富岡純一 福岡県立宇美商業高等学校3年 |
| 7 「静けさ香る春」 永田 樹里 神奈川県立光陵高等学校2年 | 15 「あふれる笑顔を…」 好永 衣吹 香川県立坂出高等学校3年 |
| 8 「ナイスバランス」 宮崎 優子 福岡市立福翔高等学校3年 | |

Photo Photo SALON 年度賞ポイント 中間発表

★1位 熊本県・八代白百合学園高等学校	110 ポイント
2位 鹿児島県・ラ・サール高等学校	70 ポイント
3位 大阪府立立城高等学校	60 ポイント
4位 静岡県立下田高等学校/愛知県立津島東高等学校	50 ポイント
6位 宮城県立柴田農林高等学校/埼玉県立芸術総合高等学校/東京都立世田谷総合高等学校/福井県立丹生高等学校/福岡県・西南学院高等学校	30 ポイント

11位以下はこちら

▶11位 (10ポイント) 新潟県・中越高等学校/長野県・飯田女子高等学校/富山県立富山東高等学校/千葉県立四街道高等学校/東京都立小石川中等教育学校/神奈川県立光陵高等学校/静岡県立伊東高等学校/大阪府・清風高等学校/京都府立西舞鶴高等学校/広島県立広島井口高等学校/香川県立坂出高等学校/香川県立坂出商業高等学校/福岡県立宇美商業高等学校/福岡市立福翔高等学校/沖縄県立浦添工業高等学校

初応募でも、すごい実力!
そんな学校がたくさんありました。次回もよろしく!

次回 フォトフォト サロンの 応募締切は 2013年9月10日(火) (当日消印有効)

応募用紙の注意事項をよく確認してね!

ガンバリ写真部!!

今回訪れたのは山口県。そう、2月の「TopEye高校生写真サミット」で見事グランプリを勝ち取った、山口県立下松高等学校です。ちょっと面白いのは、「美術部」の中で写真好きが集まった「写真班」であること。そう言えば受賞作も、フォトフォトサロンに寄せられる作品も、何やらアートな香りをまとっているような。その辺をキーワードに迫ってみようかな!

山口県立下松高等学校 美術部写真班



アート×体育系の
チャレンジパワー!

(左側)
後列:河添くん、顧問の藤井先生。
中列:坂口さん、知本さん、林さん。
前列:近藤さん、山下さん。
(中央)
後ろから山本さん、弘さん、松原さん、森田さん、田中さん。
(右側)
後列:北村さん、西本さん、中村さん、寺尾さん、渡邊くん。
前列:高田さん、河野さん、藤本さん。

部員: 20名(1年、2年、3年)
活動: 基本的に毎日活動。部員各自で撮影した写真をセレクト、プリント、ほかに部活動応援撮影、学校行事記念撮影、生徒会応援撮影、文化祭展示など活発に活動!
「高校写真部による東日本大震災復興応援プロジェクト」にも参加。
機材: 部の備品はデジタル一眼レフ7台、個人所有も多し。プリンターはA3/ビ対応含めて計3台。
部費: 毎月500円徴収。

撮影会は山口市、
合宿は尾道など!!



部室の美術教室には、
雑多な小物たくさん。
アートな環境です。

美術部DNAを活かした活動!
下松高校美術部には絵画やファッション、映像&音楽などいろんな班がワイワイ混在し、写真班にも服つくりたり作曲したりと、マルチな才能がたくさん。いろんな感性と経験が刺激あって、タダならぬ作品に結晶するわけですね。今もいろんな撮影プロジェクトが進行中の模様。じきにどこかのフォトコンで見られるかも!?

スドンとスゴい下松高校の実績!!
実は、フォトコンに出品し始めたのはここ3、4年だとか。で、この実績はかなりスゴくね?

- ◎よみうり写真大賞高校生部門フォト&エッセーの部大賞(2012年、2013年)
- ◎全国高総文祭 県代表推薦出品(2011~2013年)
- ◎月刊カメラマン 金賞1回
- ◎月刊CAPA 1席2回、2席3回
- ◎上野彦馬写真展 高校生部門 佳作(2012年)
- ◎明治安田生命マイナビビジネスコンテスト 佳作
- ◎写真甲子園 出場(2010年、2011年)
- ◎TopEye高校生写真サミット(2013年)団体賞グランプリ、個人賞村上友重賞、佳作(2名)
- ◎TopEyeフォトフォトサロン入選2回、佳作2回

部員の田中さん
「誰も思いつかない
目線が撮りたい!!」

部員の森田さん
「みんな仲よさそ〜な
写真班に惚れました(°^o°)」

元バドミントン、テニス部
サミット入賞作「二人」

元陸上部
よみうり写真大賞
大賞「夏を撃つ」

突然、誌上展覧会!

元ソフトテニス部
月刊カメラマン金賞
「次の瞬間」

元バスケット部
CAPA1席「虫のしらせ」

元から美術部
撮影には口出しません!
でもみんなをバッチリまとめる藤井先生。

追求するなら、カラダを張れ!?

なぜか多くの部員さんが体育部の経験あり。撮影活動も普段はジャージが「戦闘服」!だって。そう言えば、写真って地面に寝ころんだり、動き回ったりして撮ることも多いよね。なるべく自由に動ける服装を、という考えには納得!今回の取材でも、腹ばいでカメラ構えたり、コケる瞬間を狙ったり、いきなり歌謡曲で踊り出したり。「カラダを張る」ノリは、やはり体育会系とみた!?



3年だけと新人!
猫撮るの好きです!

中学の修学旅行で
写真にハマりました!

元バスケット部

元野球部

河添くん撮影

中村さん撮影

樹木の「緑色」に
恋します!

母が写真好き
だったもので。

元剣道部

元卓球部

先輩の写真に
惚れて入りました!

元剣道部

1年生は知り合って間もないのに、この仲の良さ!

西本さん撮影

吹奏楽部の
ポスターも制作。

元から美術部

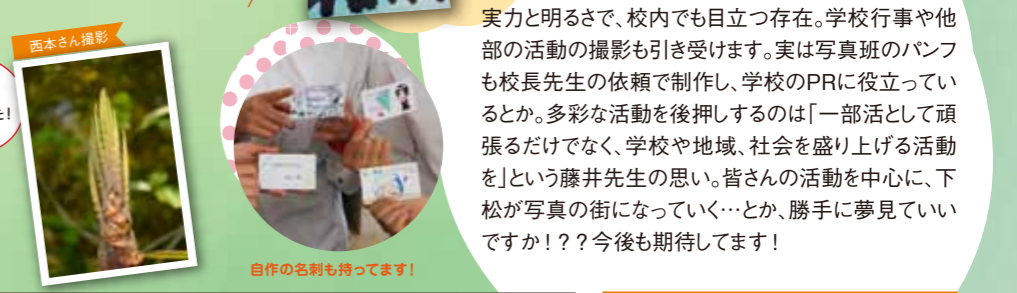
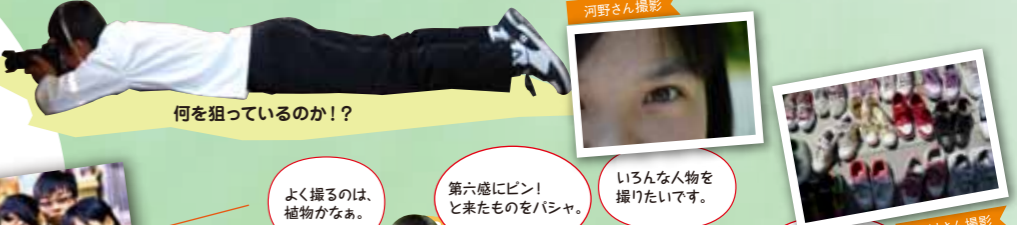
坂口さん撮影

少子化に負けない熱意ある活動を

山口県高等学校文化連盟写真専門部 理事 尾崎勝利
少子化による部活動の統廃合が進む中、県内写真部は14校と減少傾向にありますが、各学校とも熱意を持って活動しています。山口県高文連写真専門部では、毎年秋に写真展を開催していますが、審査員に日本写真家協会会員のタカオカ邦彦氏を迎え、作品の審査・講評会と同時に撮影研修会を開催し、また年度末にはタカオカ氏による作品講評による研修を行うなど生徒の撮影技術のレベルアップや、写真部の活性化を図っています。

「ガンバリ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに登場したい!という写真部(または写真部に準ずる部)は、「ガンバリ写真部取材希望」とお書きの上、
●部のPRポイント ●学校・クラブ名
●学校住所・電話番号 ●代表者氏名
を併記して、TopEye編集部までご連絡ください。(連絡先は裏表紙に記載)





露出補正が表現の鍵だ!! このボタンに注目!!

本ゼミに今年入学した2人の写真部員が、さっそく写真を撮ってきたよ。ふむ、基本を押さえて、なかなかの出来だね。…でも2人とも、何やら不満の様子。なにに、「もっとフインキのある写真にしたい」? OK!じゃここで「露出補正」の仕方を伝授しよう。

Lesson 1 ハイキー調で行進!! byレン子



Aオート (f/5.6)
ISO100
ホワイトバランス: AUTO

この写真はね、街をお散歩中に見つけた家の窓辺です。ピンクの壁とお花の取り合わせがすごくカワイイ!でも写真にしたら、なんだかカワイイさが消えちゃったような??なんて言うか…もっと明るい感じにしたいなあ!



絞り優先オート(Aオート)でうまく捉えたね。今のカメラは性能がよく、オートでも適正露出で撮れるものだ。でも、自分の感覚と違う明るさに撮れちゃうこともあるよね。そこで露出補正だ。[+/-]のボタンを押しながら、「+」の方向に露出を変えてみる。設定数値が大きいほど明るくできるよ。

決定! カット

レン子ちゃん作 PINK・PINK



露出補正: +0.7

ホントだっ!!明るくなった~! ウンと明るいのもいいけど、私が撮りたかったのはこのくらいのイメージ!



このように、かなり明るくして撮った写真を「ハイキー(high-key)」調っていうんだ。みんな覚えておこう!



Lesson 2 ローキー調もいいぞ! byシャツ太



Aオート (f/8)
ISO100
ホワイトバランス: AUTO

港で豪華客船を見かけて撮ってたから、曇り空が急に途切れて青空が。そのギャップが面白いと撮影しました。でもちょっと明るく撮れちゃったかなって。僕としてはもっと、重苦しさというか、鉛色の雲を強調したかったんですが…



鉛色、重苦しさね。じゃあレン子ちゃんとは逆に、暗い方向に補正して撮ってみよう。「-」の方向に設定を変えるんだ。



採用! カット

シャツ太くん作 明暗



露出補正: -1.0



露出補正: -1.7

おお、これですよこれ。客船の白さを保ったままで、この不安げな雲の色、そして背景の明るい空!…でも暗くし過ぎると船の色がわかんなくなるから、ホドホドってことで。



このように、暗めに撮った写真は「ローキー(low-key)」調という。ちなみに天気不安定な日は、実は面白い写真を撮るチャンス。雨に気をつけて、ぜひチャレンジしてみよう!



今回のまとめ!!

露出補正機能で写真の明るさ、暗さを変えると、写真のイメージが随分違って来る。いろんな設定値で実験してみよう。ちなみに、撮った時「失敗」と思っても、後で「結構いい!」と思えることがある。だから、思った明るさに撮れなくても、すぐ削除しないで保存しておこう。

今回トライした「露出補正」の方法は、2011年10月号(No.263)に詳しく載っているよ。では次回は「シャープな写真」について考えよう。





ヒンバ族の少女(ナミビア エプバ・フォールズ)



カラハリ砂漠のライオン(南アフリカ カラハリ・トランスフロンティアパーク)



サンショクウミワシの狩り(ボツワナ カバンゴ川)



アフリカゾウの力比べ(ナミビア エトシャ国立公園)

西 アフリカで暮らしていた子供時代、家族とサファリへ行き、父に貰った中古のカメラでワシを撮りました。豆粒大にしか写らなかったけど、感動は大きくてね。「命は消えるけど、写真になら残せる」と思ったのが原点です。

日本の高校卒業後、父の赴任でタンザニアへ。セレンゲティヤンゴロンゴロなど、豊かな自然を誇る国です。海外の大学に入る「IB」資格を取るための学校に通いながら、動物写真に熱中。その何枚かが、カレンダー用になんと1,000ドルで売れ、初めてプロを意識しました。

大学を出て帰国。婚礼撮影のアルバイトでお金を貯めてアフリカへ撮影旅行、という生活がしばらく続きました。出版社に売り込みもしたけど、未経験の文章執筆を求められることが多く、うまく行かない。でも知人の紹介で旅行社の広報誌のフォトエッセイの仕事をして、「文も書けます」と言えるようになりました。

その後、ナミビアのヒンバ族を撮った作品で大きな賞を受賞。バイトで人物撮影に慣れていたので獲れた賞です。本当にいろん

な縁や経験に後押しされてきたと感じます。

自然相手の撮影は未知数の連続です。蓄積した知識が裏切られることはざらだし、干ばつだってある。それでも事前にイメージをちゃんと練り、時間をじっくりかけ、たくさん撮ると、やはり良い作品につながります。自分のイメージと現実、そしてファインダーに捉えた場面が一致した時の「キター!」という気持ちは最高ですよ。めったに経験できませんが(笑)。

カメラは、ものの見方を変えます。観察するようになるし、どう切り取るか考えるワクワク感もある。世界中の情報が手に入る時代ですが、この世は情報だけで分かるほど単純じゃない。リアルな経験があってこそ理解できるものです。たくさん旅をして、人と会いましょう。関心を持ったらじかに触れて、本物の感触をつかんでください。

人を撮るのは勇気がいるものですが、オドオド近づくと相手に伝わってしまい、良い表情は撮れません。こっちが楽しくやれば、向こうも楽しくなる。自然体で、いろんな人と気持ちのキャッチボールをしながら楽しく撮ってください。

山形 豪

Profile

(やまがた・ごう)
1974年群馬県高崎市生まれ。少年時代を中米、西アフリカの国々で過ごす。1993年国際基督教大学高校を卒業後、タンザニアへ渡り、インターナショナルスクールに通いながら自然写真を撮り始める。1995年イギリス、イーストアングリア大学開発学部在学を経て、1998年大学を卒業し帰国。フリーの写真家として活動を始める。南部アフリカを訪れ、撮影活動の傍ら、写真サファリのガイドとしても活動中。近年ではインド亜大陸にもフィールドを広げている。日本自然科学写真協会(SSP)会員
ホームページ:
www.goyamagata.com



読者の皆さんと編集部が一緒につくる、フレンズアイ。カメラ関係のお役立ち情報に、読者の主張、写真についての疑問質問、写真展告知など、なんでもアリ。皆さんの情報提供、待ってます!

元気な先輩に出会いたい!

PhotoPhoto OB/OG訪問!

SENPAI-file.10



「撮る側」と「観る人」の関係性を楽しんでいます!

東京工芸大学写真学科 3年

田代つかささん

第151回フォトサロンTopEye賞受賞
埼玉県立新座総合技術高等学校写真部OG

実は「ヒマそう」というやや消極的?な理由で写真部に。でも仲間の刺激で撮る楽しみを知り、TopEye賞などの受賞経験を重ねて写真学科に進学。今は、「本当にやりたいこと」を自問自答しつつ、学生生活を楽しくしています!

「PhotoPhotoSalon」で栄冠を手にした先輩たちの、ホットな「今」をご紹介します。数年後のキミがここにいる!?

写真部時代の思い出をお願いします!

高校では構図やシチュエーションを作り込む演出写真的な撮り方が中心で、互いにモデルをやったり、仲間の撮影を手伝ったり。部外の友達も巻き込んで賑やかにやっていました。TopEye賞の作品も、そんな中で遊び半分、勢い半分で撮ったものです。実はその頃、受賞の面で仲間と遅れをとってまして。他のコンテストの準備でも煮詰まっていた、少しハジけちゃったのかな(笑)。ともかく、初めて分かりやすい形で自分の写真が認められた作品だったんですよ。U-31の賞もいただき、表彰式で土田ヒロミさんと話せたのは感激でした。また、自分の写真が多くの人に见られ、語られるのが不思議な感じでしたね。

今、どんな学生生活を?

高三の頃からは、演出写真だけでなくスナップ写真も撮るようになりました。特にスナップで感情を表現する心象写真に関心があって、大学二年の終わり頃までいろいろ撮ってました。高校の写真部でも部長だったんですが、実は大学の写真部でも部長だったんですが、実は大学一、二年時の部活でも、写真部で部長をやりました。年4回の部展があり、授業の課題との両立が結構大変!他にも学科有志のグループ展の幹事など、まとめ役が多いんです。そういう運命なんじゃないかな(笑)。

将来の展望を聞かせてください!

それを考えると胃がイタイ…(笑)。写真家になる気持ちは、余りないんですけど。最近、「撮った写真が自分のもとから離れていく」ということを、いろいろ考えます。自分の撮影意図と観る人の捉え方は違うし、人に感想を聞くことで、自分も新しい気づきがある。撮る側と見る人の相互反応を楽しむようになりました。そんなこともあり、今は展示会の企画を手がけるキュレーターに関心がありますね。とりあえずは、学生のうちにちゃんとした個展を開きたいと思っています。

では、後輩たちにメッセージを!

卒業して初めてわかるんですが、高校の部活でしかできないことってあります。何と言うか、かなり思い切ったことが仲間と一緒にノリでやれちゃう。そして周囲も結構それを受容してくれる。今だからこそできることを、全力で楽しんでみては。それが意外と、後々自分を助けてくれる貴重な経験になったりするんですよ。



学科の有志展では「肉」をテーマに作品を展開!

心象風景をスナップで表現。

ニコンと写真部のコラボ活動 進行中!

ニコン サポートプログラム 活動レポート Vol.1

ニコンの高性能カメラを、みんなにもっともっと楽しんでもらいたい!!というわけで、今年4月から全国60校あまりの写真部と、新しいコラボ活動やっています!ここからスゴイ才能が飛び出すかも!?!楽しみです!



熊本学園大学附属高等学校 岩手県立一関工業高等学校 富山県立富山高等学校 大阪府立富田林高等学校



岡山県立岡山東商業高等学校 千葉県立柏南高等学校 愛媛県立今治工業高等学校

参加校の元気な活動の様子が続々届いています! 次号でもジャンジャン紹介!!



京都府立宮津高等学校 岩手県立遠野緑峰高校 宮城県仙台市立仙台高等学校 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校 群馬県立大間々高等学校 愛媛県立今治東中等教育学校

ニコンのカメラを長期貸し出して、フォトサロンに積極参加!!

顧問の先生にも写真教室実施!!

サポート参加校に写真教室実施!!

●これからの活動の様子は、トップアイでも時々レポートするよ!!

7/31-8/4 2013長崎しおかぜ 総文祭 ニコンアースに集まれ!!

今年の高総文祭は、九州・長崎で開催!全国選りすぐりの文科系クラブの高校生たちが、自慢の技と作品ひっさげ集結!もちろんニコンもブースを出してみんなを応援するよ。ぜひ来てね!!



ニコンのカメラ最新機種お試しコーナー!! (2012年大会の様子) 2012年度フォトサロン優秀作品展開催!! (2011年大会の様子)

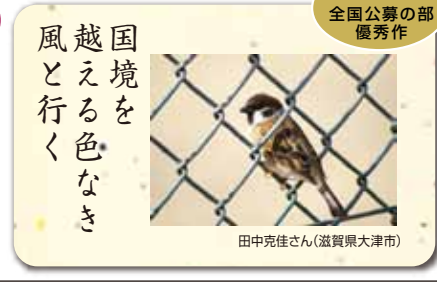
やってみよう! フォト×俳句

写真と俳句を組み合わせた新心のアート
お気に入りの写真に「五・七・五」で自分の言葉を加えてみると、写真の世界がグッと広がる! キミもぜひ挑戦してみよう!

信濃紀行 第4回全国フォト×俳句選手権

参加者募集中!!

昨年(第3回) 全国公募の部 優秀作



田中克佳さん(滋賀県大津市)

全国公募の部 応募無料

作品をつくって投稿だ!!
応募締切: 8月25日(日)

自由に撮って、自由に詠もう!
自由題の部

一茶の名句を写真で表現!
小林一茶生誕250年記念の部

グランプリ賞品 Nikon 1 S1 レンズキット

選手権・吟行大会

小林一茶のふるさと長野県・信濃町で「フォト×俳句」づくり!

作品づくり 10月5日(土) 公開審査 10月6日(日)

参加申込締切 定員(100名程度)に達し次第締め切ります。

最優秀賞品 Nikon 1 S1 レンズキット

作品づくりの三か条

- 写真と俳句どちらも自分でつくるべし
- 俳句には「季語」が必要。「春」「夏」「秋」「冬」だけでもOKなり。
- 俳句と写真は付かず離れず。写真の説明にならないように!!

いろいろな作品が観られる

「フォト×俳句」WEBサイト www.shinmai.co.jp/photo-haiku/

たくさんの作品例を掲載! 入門講座も連載中! 毎週、作品募集中!

ぜひのぞいてみてね!! www.shinmai.co.jp/photohaiku/ **フォト俳句** 検索

締切せまる!!

第61回ニッコールフォトコンテスト 第4部「U-31」部門 作品募集中!!

7月8日(月) 必着

応募資格 30歳以下の方 (2013年3月末現在)

大賞賞金 30万円 大賞賞品 D600 レンズキット

詳しくはWEBで!! www.shinmai.co.jp/photocontest/ **ニッコールフォトコンテスト** 検索

注意: ニッコールフォトコンテストとTopEyeフォトサロンに、同一の作品でご応募いただくことはできません。(ノミネートを除く)

皆さんの投稿歓迎!! 投稿の際には忘れずに書いてね!

①学校名・クラブ名 ②あなたの住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤使用可能なメールアドレス

宛先 〒104-0045 東京都中央区築地 4-3-11 アクアビル 203 (株)アドバタイズ TopEye 編集部宛 FAX (03)5148-0566 E-MAIL topeye@nikonnoa.net

掲載者には記念品をプレゼント!

Nikon Salon Information www.nikon-image.com/activity/salon/

銀座ニコンサロン (03)5537-1469 10:30~18:30(最終日は15:00)

- 小島康敬「Coming back」 6/5~6/18
- 秋田淳之助「原堂樹(奄美のガジュマル)」 6/19~7/2
- 村上 誠「水迎え 南島の“死”の光景」 7/3~7/16
- 下瀬信雄「つきをゆびさす」 7/17~7/30
- 原 芳市「常世の虫」 7/31~8/13 (会期中8/10・11休館)
- 鷲尾倫夫「巡歴の道(オキナワ)の(仮)」 8/14~8/27
- ニコンフォトコンテスト2012-2013入賞作品展 8/28~9/10
- 瀬戸正人「センシウム」 9/11~9/24
- 松浦恵介「縄文エータウン」 9/25~10/8
- Juif「Catching the Bird」 10/9~10/22

新宿ニコンサロン (03)3344-0565 10:30~18:30(最終日は15:00)

- 野村次郎「絆」 6/4~6/17
- Juna21 世羅拓人「フィンス」 6/18~6/24
- 倉茂義隆「続 ふるさと振尾の日々」 6/25~7/8
- 大沼英樹「春の光をもとめて」 7/9~7/15
- Juna21 島田悠吾「NYC/Yellow-Blue」 7/16~7/22
- いしだまこと「Unknown Faces~無名人々々の華麗なポートレート~」 7/23~8/5
- 青島千恵子「シリーズ「光る音VI」New York・彷徨」 8/6~8/17 (8/18・19 休館)
- Juna21 青木秀平「forest park」 8/20~8/26
- 寺門豪「部屋と写真」 8/27~9/2
- 甲斐啓二郎「Shrove Tuesday」 9/3~9/16
- 全日本写真連盟「全日本写真展2013」 9/17~9/23
- Juna21 林 典子「キルギスの誘拐結婚」 9/24~9/30
- 岡本譲治「PARIS 2012-2013」 10/1~10/14

ニコンサロンbis新宿 (03)3344-0565 10:30~18:30(最終日は15:00)

- 伊藤邦美「かんのんさまの里」 6/1~6/17
- Juna21 上田順平「手紙」 6/18~6/24
- 大平健一「萩・津和野景」 6/25~7/1

●日本大学芸術学部写真学科 新4年生選抜者12名「出て来い新人2-日本大学芸術学部写真学科気鋭学生写真展」 7/2~7/8

●ニッコールクラブ創立60周年記念「郷愁と混沌のベトナム 幻想のランタン祭り」海外撮影ツアー作品展 7/9~7/15

●Juna21 おがわてつし「たからもの〜ふくしまから〜」 7/16~7/22

●阿込 佑「絆の絆〜7人の海女」 7/23~7/29

●日本鉄道写真作家協会「陽のあたる場所(鉄道輝く刻)」 7/30~8/5

●ニッコールクラブ大塚支部「各中銀座(飾らない笑顔)」 8/6~8/17 (8/18・19 休館)

●Juna21 松下初美「はりを抱く」 8/20~8/26

●デジスコ倶楽部「第10回デジスコ写真展」 8/27~9/2

●全国高等学校文化連盟「第37回全国高等学校総合文化祭写真展優秀作品展」 9/3~9/9

●日本舞台写真家協会「踏・鳴・舞・奏・演 舞台写真の世界」 9/10~9/16

●第4回田沼行男賞写真作品公募受賞作品展 9/17~9/23

●Juna21 丸山勇樹「山の場所」 9/24~9/30

●影山芳正「私流ジパンゴ」 10/1~10/7

●芳賀健二「風止みの街(静寂のとき)」 10/8~10/14

大阪ニコンサロン (06)6348-9698 10:30~18:30(最終日は15:00)

- Juna21 藤原香織「ホログラム」 6/13~6/19
- Juna21 齊藤小弥太「永遠の園」 6/20~6/26
- 小林紀晴「kemonomichi」 6/27~7/3
- 内山英明「ATOMワールド ATOM WORLD」 7/4~7/10
- 安掛正仁「経線草紙」 7/11~7/17
- 菊池東太「白亜紀の海2」 7/18~7/24
- Juna21 吉原かおり「サヨナラと香辛料」 7/25~7/31
- Juna21 小須田望「closed square」 8/1~8/7
- 下瀬信雄「つきをゆびさす」 8/8~8/21 (会期中8/17・18休館)
- 村上誠「水迎え 南島の“死”の光景」 8/22~8/28
- 青島千恵子「シリーズ「光る音VI」New York・彷徨」 8/29~9/4
- 鷲尾倫夫「巡歴の道(オキナワ)の(仮)」 9/5~9/11
- 田島さゆり「鏡像の祖国-アルゼンチンの日系人たち-」 9/12~9/18
- Juna21 世羅拓人「フィンス」 9/19~9/25
- Juna21 島田悠吾「NYC/Yellow-Blue」 9/26~10/2
- ニコンフォトコンテスト2012-2013入賞作品展 10/3~10/16

ニコンサロンbis大阪 (06)6348-9698 10:30~18:30(最終日は15:00)

- Juna21 高島空太「ざわつき」 6/13~6/19
- Juna21 アラタンボヤガ「草原に生きている一内モンゴル・遊牧民の今日」 6/20~6/26
- ニッコールクラブ銀座支部「築地場外市場」 6/27~7/3
- 森田三郎「もうだれもいない一ある遊園地の終息」 7/4~7/10
- 森本富雄「水都大阪・今!」 7/11~7/17
- 牧野昭子「記憶をたずねて」 7/18~7/24
- Juna21 和田悟志「すべてそこにある」 7/25~7/31
- Juna21 富永 晋「遠い記憶」 8/1~8/7
- 日本鉄道写真作家協会「陽のあたる場所(鉄道輝く刻)」 8/8~8/21 (会期中8/17・18休館)
- 全国高等学校文化連盟「第37回全国高等学校総合文化祭写真展優秀作品展」 8/22~8/28
- ニッコールクラブ創立60周年記念「郷愁と混沌のベトナム 幻想のランタン祭り」海外撮影ツアー作品展 8/29~9/4
- 夏目幹也「祭りの子」 9/5~9/11
- デジスコ倶楽部「第10回デジスコ写真展」 9/12~9/18
- Juna21 上田順平「手紙」 9/19~9/25
- Juna21 おがわてつし「たからもの〜ふくしまから〜」 9/26~10/2
- 第4回田沼行男賞写真作品公募受賞作品展 10/3~10/9
- 荒井保男「吾が街3キロの行まい」 10/10~10/16

ニコンプラザ 仙台フォトギャラリー (022)715-1490 日・祝休館 9:30~18:00(最終日は15:00)

- 松本佳子「晴れときどき旅」 6/12~6/25
- 公益社団法人シャント国際ボランティア会・社会福祉法人山田町社会福祉協議会・山田町社協復興支援センター「未来を紡いでいくために 山田町のいま」 6/26~7/9
- 山崎 茂「下町の紳士淑女たち」 7/10~7/23
- 大関一泰「SL」 7/24~8/6
- 日刊スポーツ「バガタ山台報道写真展(仮)」 8/7~8/20
- 東北風景写真家協会「私の原風景」 8/21~9/3

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

見てね! ネットでもTopEye

TopEye誌面のダウンロードや、フォトサロン受賞作品の鑑賞ができます。
URL: www.nikon-image.com から「写真文化活動」>「写真部応援マガジン TopEye」へどうぞ!

「Top Eye」へのお問い合わせはこちらまで。
ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikonnoa.net
TEL: 03-3769-7960